

学習指導要領	山崎高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開に注意しながら主要な内容をとらえ、その論理性に気づくことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、対比の関係や「序論・本論・結論」など段落の構成をとらえることができる。 ・小説において、場面や人物などの設定を通して全体の構成やその展開の仕方をとらえることができる。 ・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容をとらえることができる。 ・文章の構成や展開の工夫や、書き手の主張などを伝えるための筋道の通し方に気づくことができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図に気づいたり、人物、情景、心情の描写などをとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を感じ取り、味わうことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、書き手の主張や意図を文章中から指摘し、整理することができる。 <p>中島敦『山月記』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像や心情の変化を、その言動から読み取ることができる。 ・作品全体を通して登場人物の心情や葛藤を読み取ることができる。 ・同じ作家の他の作品などを読書することができる。

学習指導要領	山崎高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を指摘しながら、自分の考えを深めることができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、共感したり反発したりすることを通して、その根拠となる内容や表現を指摘することができる。 ・文章を読んで身近な人間、社会、自然などの問題に結びつけ、自分の考えを明確にすることができる。
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>目的に応じて、収集した情報を整理して資料を作成し、根拠を示しながら自分の考えを述べることができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や課題に応じて、事典、新聞、書籍などを利用して情報を収集することができる。 ・収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。 ・作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味、用法について基本的な事柄を理解し、文体や語句の使い方などの表現の特色を意識して、自分の表現を見直すことができる。</p> <p>《具体的な例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難易度が易しい文章について、語句の意味・用法を理解し、用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なものの意味を正しく理解し、用いることができる。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史への扉</p>	<p>自然環境と人類のかかわり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類のかかわり 自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。</p>	<p>人類は、自然環境の制約を受けると同時に、自然環境に積極的に働きかけ、適応すべき諸手段を開発してきたことを知るなかで、世界史学習における地理的視点の重要性を理解し、歴史を学ぶことの意義を知る。</p>
<p>(2) 諸地域世界の形成</p>	<p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p> <p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文</p>	<p>ア 西アジア世界・地中海世界 オリエント文明、ギリシア・ローマ文明などに触れ、西アジア世界と地中海世界などの基礎的前提を知る。</p> <p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 インダス文明以後のインドなどに触れ、南アジア世界などの基礎的前提を知る。</p>

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>エ 時間軸からみる諸地域世界 主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>(3) ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p> <p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p> <p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交</p>	<p>ウ 東アジア世界 日本を含む東アジア世界の特質などの基礎的前提を知る。</p> <p>エ 時間軸から見る諸地域世界 様々な歴史的事項を年代順に並べたり、地域世界ごとに世紀や西暦等を用いて歴史的事項を時代順に分類したりする活動などを通して、世界史を時間的なつながりに着目しつつ歴史的事項を時代等に整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 イスラーム世界の形成と過程などの基礎的前提を知る。</p> <p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 西ヨーロッパの関連諸地域と関わりなど、ヨーロッパ世界の形成と展開の過程などの基礎的前提を知る。</p> <p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族や東アジア地域の動向など、アジア諸地域世界の理解に関する事項などの基礎的前提を知る。</p>

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>流と再編に果たした役割を把握させる。</p> <p>エ 空間軸からみる諸地域世界 同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>(4) アジアの反映とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p> <p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中で日本の位置付けを理解させる。</p> <p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジア</p>	<p>エ 空間軸からみる諸地域世界 諸地域世界の交流などを地図上に表すなどの活動を通して、世界史を地理的・空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能の基礎を知る。</p> <p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 アジア諸帝国や、東アジア世界と日本の関係などの基礎的前提を知る。</p> <p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成など、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係などの基礎的前提を知る。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までの欧米を中心とした経済的、政治的変革などを扱い、産業社会と国民国家の形成を知る。</p> <p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、西洋の衝撃を受ける帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革などを通じて、19世紀のアジアの特質を知る。</p>	

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p> <p>オ 資料からよみとく歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>ウ 米ソ冷戦と第三世界 米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<p>オ 資料からよみとく歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、発表したりする活動などを通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく活動を体験する。</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを知る。また、今日人類が直面する課題について歴史的観点を踏まえ、21世紀の世界について展望できる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容 国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について知る。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について知る。</p> <p>ウ 米ソ冷戦と第三世界 米ソ両陣営による冷戦の展開など、第二次世界大戦後の時代について基礎的事項を知る。</p>

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>エ グローバル化した世界と日本 市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p> <p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題 地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>エ グローバル化した世界と日本 グローバル化した世界と日本について世界と日本の動向及び社会の特質の基礎的前提を知る。</p> <p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題 地球世界の課題に関して設定した主題や今までの学習内容などを活用して、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望する。</p>

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料</p> <p>・ 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化</p> <p>東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほづらぎ}について考察させる。</p>	<p>[歴史はなぜわかるか]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時代を代表する遺跡（考古的史料）や各時代を特色付ける遺物（考古的史料）、文献的史料、民族的史料などから、歴史は史料を扱い、それが歴史を考察する基本的な方法であることを理解し、文化財保護の重要性に気付かせる。 <p>[日本文化の黎明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化と縄文文化、弥生文化の特色を使用した道具（遺物）、遺跡の違いによって区別できる。 弥生文化について、水稻耕作の開始と農耕による、社会の変化、小国の成立について理解する。 <p>[古代国家の形成と展開、文化の特色と背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国の史書から小国が形成され、互いの抗争の中で邪馬台国が統合したことを知る。 古墳の実際と大和政権のしくみ、国内統一の過程を中国の史書から知る。 推古朝の政治、遣隋使の派遣や大陸文化の流入、飛鳥文化の特色を知る。 大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制がしだいに整備されたことを知る。 平城京遷都、遣唐使、大仏造立や国分寺建立、藤原氏の政界進出、律令国家の実際について知る。 天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂が国家事業として進められたことを知る。 <p>[古代国家の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。 藤原氏の台頭と摂関政治全盛期の藤原道長・頼通の政治について整理し、摂関政治が藤原氏による外戚政治であることを理解する。 	

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <p>(2) 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成</p> <p>武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘仁・貞観文化の特色を知る。 <p>[国風文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名文字による和歌や女流文学の発達、浄土教の発達や貴族の生活などから日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進展したことを知る。 <p>[土地制度の変遷と中世社会の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地制度の変遷について、自墾地系荘園、寄進地系荘園の発生について知る。 ・地方政治の混乱と武士の登場について知る。 ・土地制度の変遷と地方政治の混乱、武士の登場の相互の因果関係について知る。 <p>[中世国家の形成過程や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。 ・武士のはじめて政権として平氏政権の成立とその特色について知る。 ・源平の争乱と武士の本格的な政権である鎌倉幕府の成立について知る。 ・北条氏の台頭と執権政治、御成敗式目の制定について知る。 ・蒙古襲来と御家人の窮乏についての因果関係を知る。 <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院政期に新たな文化が芽生えたことを知る。 ・庶民仏教として新仏教が成立したことを知る。 ・大陸伝来の新技術、武士や庶民を題材にした文学や絵巻物が作成されたことを知る。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>(3) 近世の歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p>	<p>[中世社会の多様な展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建武の新政と南北朝動乱について知る。 ・室町幕府の成立と守護大名の登場について知る。 ・応仁の乱後、下剋上の風潮の中で戦国大名が生まれたことを知る。 ・勘合貿易の内容について知る。 <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸産業と流通や地域経済が発達したことを知る。 ・南北朝文化・北山文化・東山文化の特色を知る。 ・文化の地方普及と都市の形成について知る。 <p>[歴史の説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを、それぞれの解釈を述べた書物を紹介し理解する。 <p>[近代国家の形成とその特色や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世的な社会を脱した織豊政権の統一事業やその過程を知る。 ・検地・刀狩などの国内政策や朝鮮出兵外交政策について知る。 ・桃山文化の特色を知る。 ・江戸幕府の成立過程、全国支配のしくみを知る。 ・鎖国体制に至る原因、過程、影響を知る。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>本 と 世 界</p>	<p>イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<p>[産業経済の発展や文化の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。 ・農業と商品貨幣経済の発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知るとともに、年貢に頼る武士が困窮していく実態を知る。 ・元禄文化の特色を知る。 ・改革のねらいと享保の改革や田沼政治の代表的な政策を知る。 <p>[幕藩体制の変容と近代化の基盤形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寛政の改革や天保の改革の代表的な政策を知る。 ・列強の接近が幕府を中心とした国内の支配体制を脅かしたことを知る。 ・改革に成功した薩摩藩・長州藩などの雄藩の台頭について知る。 ・宝暦・天明期の文化と化政文化の特色を知る。 <p>[開国と幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命以降の列強の世界的な動きを知る。 ・ペリー来航と日米和親条約調印により、幕府が鎖国政策を改めたことを知る。 ・日米修好通商条約が不平等条約であったことを具体的な内容を通して知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊王攘夷派と公武合体派の対立を軸に幕末の動乱が展開したことを知る。 ・大政奉還から王政復古で江戸幕府が廃されたことを知る。

	学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
(4) 近代日本の形成と世界	<p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p>	<p>[明治政府の諸政策]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新政府が五箇条の御誓文、五榜の掲示を出し、新政府の方針を示したことを知る。 廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正など明治維新の諸政策について、それぞれの内容を知るとともに、士族が不満を持つようになったことを知る。 <p>[明治初期の外交と政変]</p> <ul style="list-style-type: none"> 琉球や樺太、千島など領土を画定していったことを知る。 征韓論と明治六年の政変の関係を知る。 <p>[文明開化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米文化が導入され、短期間に人々の生活が変化していったことを知る。 <p>[自由民権運動と立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 不平士族の反乱と士族の不満が自由民権運動につながっていったことを知る。 自由民権運動の展開について知る。 大日本帝国憲法の制定及び内容について知る。 超然主義と初期議会の動向について知る。 <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> 不平等条約改正の課題を理解し、交渉の経過を知る。 <p>[日清・日露戦争とその前後のアジア]</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝鮮の支配権をめぐり清と対立し、日清戦争が始まったことを知る。 日清戦争後、はじめて政党内閣が成立したことを知る。 列強の中国分割が進行し、ロシアが満州と韓国に勢力を拡大する中で、日本がイギリスと同盟を結んだことで日露戦争へ向かっていく過程を知る。

	学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(5) 両世界大戦期の日本と世界</p>	<p>ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通して、植民地支配を進めたことを知る。 <p>[近代産業の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業革命の主役となったのは紡績業と製糸業であり、日清・日露戦争を通して重工業が発達し産業革命が行われたことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命により、労働問題や公害問題などが起こったことを知る。 <p>[近代文化の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の分野において、世界的な業績を挙げたことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の思想界の動向について知る。 ・明治期の文学や芸術の大きな流れについて知る。 <p>[政党政治の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂園時代を経て、第一次護憲運動によって内閣が倒されたことを知る。 <p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前の国際関係、日本の参戦と中国への動きを知る。 ・ロシア革命とシベリア出兵、米騒動との関係について知る。 <p>[大正デモクラシー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米騒動を経て、初の本格的な政党内閣が組織されたことを知る。 ・第二次護憲運動の結果、護憲三派内閣が成立し、以後、政党内閣が続いたことを知る。 ・社会主義運動、労働運動、農民運動、部落解放運動、女性の地位向上を目指す運動などの動向を知る。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p> <p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p>	<p>[大衆社会の形成] ・教育が普及するとともに、都市化と大衆化が進み、ラジオや映画や雑誌などの大衆文化が誕生したことを知る。</p> <p>[第一次世界大戦後の対外政策の推移] ・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。また、五・四運動、三・一独立運動について知る。</p> <p>[第一次世界大戦後の政治、経済、外交の推移] ・大戦景気とそれによる社会・産業構造の変化について知る。</p> <p>・金融恐慌と外交政策の転換について知る。</p> <p>・世界恐慌の発生、昭和恐慌やその対応策について知る。</p> <p>・満州事変と五・一五事件、二・二六事件など軍部の台頭とその影響について知る。</p> <p>[戦時体制の強化と第二次世界大戦] ・日中戦争と日本の対応について知る。</p> <p>・全体主義的な国家体制が進展し、英米等との戦争に拡大していったことを知る。</p> <p>・太平洋戦争の経過と戦時下の国民生活について知る。</p> <p>[敗戦と日本の占領] ・GHQによる間接統治と実質的なアメリカ単独占領などについて知る。</p> <p>・日本国憲法の内容と特色について知る。</p> <p>・連合国の占領政策が途中で世界情勢、国内情勢の変化から転換したことを知る。</p>

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(6) 現代の日本と世界</p>	<p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ平和条約によって日本が独立し、日米安全保障条約の締結により日米安保体制が築かれたことを知る。 <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ソ共同宣言、国際連合への加盟、日韓基本条約、沖縄返還、日中国交回復など独立後の日本の外交政策について知る。 ・日本が行っているODA、PKOなどの国際貢献について知る。 <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争を経て、戦後の経済復興の過程を知る。 ・高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となった経緯や公害問題を知る。 ・消費生活の拡大、自動車の普及、核家族化などによる家庭生活の変化や教育水準の向上・科学技術の発達に伴う生活水準の向上などにより、国民生活はどのように変貌したかを知る。 <p>[歴史の論述]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を活用しながら自分なりの解答を文章で表現できる。 ・歴史を学ぶ意義について自分なりの解答を文章で表現できる。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 現 代 に 生 きて 自 己 の 課 題</p>	<p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p> <p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路選択や、自己の生き方を考えるうえでの、困難を乗り越えるために、おとなとこどもの違いについて考え、青年期の特徴を理解している。 青年期の特徴として、第二性徴、第二反抗期、心理的離乳という概念を理解している。 ・自立をする上で必要なアイデンティティの確立について理解し、どのようにすればそれが達成できるか、自分なりに答えを出している。 ・アイデンティティ拡散の例として、ピーターパン・シンドロームなどを理解し、そうならないために、いかに自己理解を深めていくか自分なりの答えを出している。 ・マズローの欲求階層説などをもとに、人間は自分自身を成長・発展させ、自己実現を図ろうとする欲求を持つことや、自己肯定感の重要性について理解し、「承認」という観点からそれをどのように高めていくか自分なりの答えを出している。
<p>(2) 人 間 と し て の 在 り 方 生 活</p>	<p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p> <p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特徴について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題とともに、自己の生き方を助ける手段として、哲学・宗教などのもつ価値を理解している。 ・古代ギリシャの自然哲学を理解することで、人間の知的営みが神話的世界から論理的世界にどのように移行していったのかを理解している。 ・ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想について理解させ、知を探究することの意義について考えている。 ・宗教について、その内容を具体例をまじえながら理解し、その意義について考察してい。 ・日本の人間観、自然観、宗教観の特質について理解し、国際社会に生きる日本人として、社会のあり方や自己の生き方について主体的に思索を深めている。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>(3) ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間とは何か」という問いについて、宗教改革について学ぶとともに、ルネサンスやモラリストの思想とともに理解している。 ・「科学革命」が市民革命などに与えた影響などを考え、科学観の違いについて理解し、ベーコンやデカルト、ポパー、クーンなどの思想をもとに、科学的に見るとはどのようなことかについて考えている。 ・ホッブズやロック、ルソーなどの社会契約論の思想を、「自然権」「万人の万人に対する闘争」「抵抗権」「一般意思」の用語とともに理解している。 ・資本主義の課題とともに生まれた社会主義思想の特徴について理解し、映像等も用いながらそれぞれの理想の政治について考えている。 ・功利主義や社会契約説などの思想をもとに、民主主義を実現するための倫理が形作られていく過程について理解し、その影響について考察を深めている。 ・実存主義思想をもとに、自らの青年期やこれからの生き方について思索を深めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・多様なメディアを通じて、日々、大量の情報が伝達されている現代の情報社会の現状とその特徴について知り、風評被害などの問題を取り扱いながら、メディア・リテラシーの必要性を知り、それを身につけている。 ・グローバル化の進展とともに、文化摩擦や外国人差別の問題が発生していることを、エスノセントリズムの事例に基づき、理解している。 ・出生前診断、デザイナーベビー、クローン技術などの話題から、生命倫理について考え、自分なりの考えを持つ。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則として、ホブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解し、大日本帝国憲法においては君主主権であったものが、日本国憲法の下では国民主権となったことや、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。 ・日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。例えば、国会が国権の最高機関で唯一の立法機関であり、衆議院・参議院の二院制を採用していることを知る。 ・法は社会生活における人間の行動を規律する社会規範の一つであり、国家による強制を伴うという点で、道徳や慣習とは異なることを知る。 ・基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて知る。 ・現代社会における権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを知る。例えば、重大事件等に対する国民の司法参加を促す取組として裁判員制度があることを知る。 ・我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台に、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを知る。 ・我が国の地方自治制度の特徴として、直接民主制の考え方がより多く取り入れられており、首長と議会が住民の代表としてそれぞれ独立に選ばれていることなどを知る。 ・民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であり、一方、現代政治の特質とし

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<p>て、国民の価値観が多様化する中で、政府による利害調整の働きへの期待が大きくなっていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 55年体制の成立や小選挙区比例代表並立制の採用といった歴史的経緯を踏まえながら、戦後日本の政党政治と選挙制度の変遷について、その概要を知る。 ・ 冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえて、世界の多極化や新興国の急速な経済発展等が進む中で、国際社会の平和と安定のために、国際機関が様々な活動を展開していることを知る。 <p>・ 国際法に関する基本的な仕組みや、統一的な立法機関が存在せず、当事国の同意以外、強制力を十分にもたない現状などについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・ 国際連合の主要な機関の名称と役割について、例えば、安全保障理事会が国際平和と安全の維持を目的とした機関であることや、五か国の常任理事国が拒否権を有することなどについて知る。 ・ 我が国の安全保障における日米安全保障条約のもつ意義や、自国の防衛と国際社会の平和と安全に向けて自衛隊が果たしている役割などについて知る。 ・ 現代の国際紛争は、国家間の対立だけではなく、民族・宗教間の対立やテロ行為を端緒とするものなど、その要因が多様化しており、国際的な連携が紛争の未然防止に不可欠であることを知る。 ・ グローバル化が進展する国際社会において、我が国に求められる、国際平和の実現に向けた人的・経済的な貢献の在り方について知る。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質 経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る。 ・ 現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割について知る。 ・ 市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場においては、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し、経済資源の効率的な配分が実現されることを知る。また、市場の失敗の例として、公害問題や消費者問題（製品事故や薬害等）があることを知る。 ・ 物価や景気の変動が国民生活に大きな影響を与えることや、国民生活を向上させるには、経済成長と物価の安定が必要であることについて知る。例えば、1990年代以降の我が国において物価下落（デフレーション）が進行し、長期的な不況に陥ったことについて知る。 ・ 政府による経済活動のことを財政と呼び、国民から徴収した税金等を財源として様々な公共支出が行われていることや、国民経済における租税の意義と役割について知る。 ・ 金融市場における直接金融と間接金融の違いや、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能などについて知る。例えば、我が国の中央銀行である日本銀行が、発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行という三つの特徴を有していることについて知る。 ・ 現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る。 ・ 経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方と、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る。 ・ 国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。例えば、1ドル＝200円が100円に

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>変化することが円高であり、円高になると輸入が増加する傾向があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関税と貿易に関する一般協定（GATT）を引き継いで設立された世界貿易機関（WTO）の主な役割や、国際通貨基金（IMF）が戦後の世界経済に果たしてきた役割について知る。 ・国際的な地域経済統合の動きとして、欧州連合（EU）について知る。例えば、EUの前身であるヨーロッパ共同体（EC）の成立と拡大、共通通貨ユーロの導入などの経緯について知る。 ・南北問題とその解決のための具体的方策について、国連貿易開発会議などの国際機関の動きを中心に知る。例えば、モノカルチャー経済からの脱却のために我が国を含む経済協力開発機構（OECD）加盟国などが発展途上国援助を行っていることを知る。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国が少子高齢社会を迎えて、様々な面で国民経済に大きな影響が出始めていることや、医療や年金など社会保障費の財政負担の増大が大きな問題となっていることを知る。 ・高度経済成長以降の我が国の地域社会の変化について、都市と農村とを比較しながら、過疎と過密が同時に進行してきたこととその背景を知る。 ・雇用と労働を巡る問題について、少子高齢化や産業構造の変化、規制緩和の進展などにより、就業形態が多様化し労働市場が大きく変化していることを知る。 ・我が国における産業構造の変化について、急速な技術革新や情報化が進展するなど、経済のソフト化・サービス化が進んでいることや、中小企業と大企業との間に様々な格差が存在していることなどを知る。 ・農業と食料問題について、日本の食料自給率が他の先進国と比べて極めて低いことや、農業に対する様々な規制や補助金の問題、農業従事者の高齢化問題など、日本の農業をめぐる諸課題について知る。 ・地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の気候変動やオゾン層の破壊、熱帯林の減少など、様々な問題が生じていることを知る。 ・国際経済格差の是正と国際協力について、先進国と発展途上国との経済格差が拡大する南北問題と、発展途上国間において経済的格差が広がる南南問題があり、これらの問題解決のために国際的な取組が行われていることを知る。 ・人種・民族問題等について、それぞれの人種・民族はそれぞれの固有の文化や宗教などをもっており、その違いや経済的な格差が、時として相互の反感や差別と結び付き、人種・民族問題を発生させていることについて知る。 ・国際社会における日本の立場と役割について、これまで我が国が実施してきた政府開発援助（ODA）や国連

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
	<p>平和維持活動（PKO）の実績などを踏まえて、今後も国際社会に貢献していくことが重要であることを知る。</p>

学習指導要領		山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 式と証明</p> <p>い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算</p> <p>ろ 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、</p> <p>い それらを用いて式の展開や因数分解をすること。</p> <p>ろ また、整式の除法や分数式の四則計算について理</p> <p>な 解し、簡単な場合について計算をすること。</p> <p>式</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 1文字の3次式の展開や因数分解ができる。 (例1) 次の式を展開せよ。 (1) $(x+3)^3$ (2) $(a-5)(a^2+5a+25)$ (例2) 次の式を因数分解せよ。 x^3+8 • 整式の除法ができる。 (例) 次の整式 A を整式 B で割った商と余りを求めよ。 (1) $A=2x^2+7x+9$ $B=x+3$ (2) $A=6x^3+5x^2+7$ $B=2x^2+3-x$ • パスカルの三角形の考えや二項定理を用いて、式の展開ができる。 (例1) パスカルの三角形を用いて、次の式を展開せよ。 $(a+b)^4$ (例2) 次の式の展開式において、[] 内に指定された項の係数を求めよ。 (1) $(3x+2)^5$ [x^2] (2) $(\sqrt{2}x-y)^7$ [x^4y^3] • 簡単な分数式の計算ができる。 (例) 次の計算をせよ。 (1) $\frac{x+2}{x-5} \times \frac{x^2-25}{x^2+2x}$ (2) $\frac{x^3-64}{x+1} \div \frac{x^2-16}{x^2+5x+4}$ (3) $\frac{3x-1}{x+1} - \frac{x-3}{x+1}$ (4) $\frac{2}{x^2-x} - \frac{1}{x^2-3x+2}$

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(イ) 等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p> <p>イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・恒等式の意味を理解する。 (例) $2x^2 + 3x - 1 = a(x+1)x^2 + b(x+1) + c$ が x についての恒等式となるように、定数 a, b の値を求めよ。 ・簡単な等式の証明ができる。 (例) 次の等式を証明せよ。 $(a+b)^2 - (a-b)^2 = 4ab$ ・簡単な条件つき等式の証明ができる。 (例) $\frac{a}{b} = \frac{c}{d}$ のとき、次の等式を証明せよ。 $\frac{a-2c}{b-2d} = \frac{a}{b}$ ・平方完成を用いて、不等式の証明ができる。 (例) 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つときを調べよ。 $x^2 + 10y^2 \geq 6xy$ ・いろいろな不等式の証明ができる。 (例) $a > 0$ のとき、次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つときを調べよ。 $a + \frac{2}{a} \geq 2\sqrt{2}$ ・複素数の相等の意味を理解する。 (例) 次のような x, y を求めよ。 $(x+2) + (y-3x)i = -1+6i$ ・簡単な複素数の四則計算ができる。 (例1) 次の計算をせよ。 (1) $(3+4i)(3-4i)$ (2) $\sqrt{-2} \times \sqrt{-8}$ (例2) $\frac{3+i}{3-i}$ を $a+bi$ の形に表しなさい。

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p> <p>(2) ア 直線と円 図 (ア) 点と直線 形 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>方 式</p>	<p>・複素数の範囲で2次方程式が解ける。 (例) 複素数の範囲で次の2次方程式を解きなさい。 $x^2 - 4x + 7 = 0$</p> <p>・解と係数の関係の意味を理解する。 (例1) 2次方程式 $3x^2 + 8x - 6 = 0$ の2つの解を α, β とするとき、$\alpha + \beta$、$\alpha\beta$ の値を求めよ。 (例2) 次の2数 $2 + \sqrt{5}i$、$2 - \sqrt{5}i$ を解にもつ2次方程式を1つ作りなさい。</p> <p>・剰余の定理の意味を理解する。 (例) $P(x) = x^3 - 2x^2 + 3x - 4$ を $x - 2$ で割った余りを求めよ。</p> <p>・簡単な高次方程式を解くことができる。 (例) 次の方程式を解きなさい。 (1) $x^3 - 8 = 0$ (2) $x^4 - 7x^2 + 12 = 0$ (3) $2x^3 - x^2 - 4x - 1 = 0$</p> <p>・数直線上や平面上の2点間の距離を求めることができる。 (例) 次の2点間の距離を求めよ。 (1) 原点O、A (4, -4) (2) A (1, 4)、B (-3, 5)</p> <p>・数直線上の線分や座標平面上の線分を内分、外分する点および中点の座標を求めることができる。三角形の重心の座標を求めることができる。 (例) (1) 2点A (3, 5)、B (-3, 2) を結ぶ線分ABについて、1 : 2に内分する点、外分する点、中点の座標を求めよ。 (2) 3点A (-2, 4)、B (-1, 3)、C (6, 1) を頂点とする△ABCの重心の座標を求めよ。</p> <p>・指定された点に関して対称な点の座標を求めることができる。</p>

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>	<p>(例) (1) 点A (1, -2) に関して、点P (3, -5) と対称な点Qの座標を求めよ。 ・公式を用いて直線の方程式を求める事ができる。</p> <p>(例) (1) 傾き-3、点(2, 4)を通る直線の方程式を求めよ。 (2) 2点(3, -4)、(-1, 0)を通る直線の方程式を求めよ。 ・1点を通り、与えられた直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることができる。</p> <p>(例) (1) 点A (2, -1)を通り、直線$3x - y - 6 = 0$と平行な直線および垂直な直線の方程式を求めよ。 ・与えられた条件から円の方程式を求めることができる。</p> <p>(例) (1) 中心が点(2, 3)、半径が4の円の方程式を求めよ。 (2) 2点A (-3, 0)、B (-1, 2)を直径とする円の方程式を求めよ。</p> <p>・与えられた条件から点の軌跡を求めることができる。</p> <p>(例) (1) 2点A (-1, 0)、B (2, 0)からの距離の比が2 : 1である点Pの軌跡を求めよ。</p> <p>・直線、円について与えられた不等式からその領域を図示することができる。 (例) 次の不等式の表す領域を図示せよ。</p> <p>(1) $y \geq x + 3$</p> <p>(2) $x^2 + y^2 < 9$</p> <p>(3) $\begin{cases} (x-2)^2 + y^2 \leq 4 \\ y \leq -x + 2 \end{cases}$</p>

学習指導要領		山崎高校 学カスタンダード
<p>(3) 指数関数 対数関数 対数関数 ・ 対数関数</p>	<p>ア 指数関数 (ア) 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。</p> <p>(イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>	<p>・指数が0や負の整数の場合の値を求めることができる。 (例) 次の値を求めよ。 (1) 5^0 (2) 3^{-2}</p> <p>・累乗根の性質について理解し、計算できる。 (例) 次の値を求めよ。 (1) $\sqrt[4]{\frac{81}{16}}$ (2) $\sqrt[5]{\sqrt{1024}}$</p> <p>・指数法則を用いた計算問題を解くことができる。 (例) 次の計算せよ。 (1) $2^8 \times 2^{-5}$ (2) $3^{\frac{1}{2}} \times 3^{-\frac{1}{3}} \times 3^{\frac{5}{6}}$</p> <p>(3) $\sqrt[6]{2^5} \div \sqrt[3]{2} \times \sqrt{2^5}$</p> <p>・指数関数のグラフをかくことができる。 (例) 指数関数 $y = 4^x$ のグラフをかけ。</p> <p>・指数関数の特徴を理解し、数の大小を比較できる。 (例) 次の数の大小を不等号を用いて表せ。 $9^4, 1, 9^{-3}$</p> <p>・指数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 (例) 次の方程式、不等式を解きなさい。 (1) $2^x = 8$ (2) $3^x < 81$</p> <p>・指数と対数の関係を理解し、対数の値を求めることができる。 (例) 次の値を求めよ。 (1) $\log_2 8$ (2) $\log_2 \sqrt[3]{4}$</p> <p>・対数の性質を理解し、対数の計算ができる。 (例) 次の式を計算せよ。 (1) $\log_2 8$ (2) $\log_2 \sqrt[3]{4}$</p>

学習指導要領		山崎高校 学カスタンダード
<p>(イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>		<p>・底の変換公式を利用して対数の計算ができる。 (例) 次の式を簡単にせよ。</p> <p>(1) $\log_8 16$ (2) $\log_2 3 \cdot \log_3 2$</p> <p>・対数関数のグラフをかくことができる。 (例) 対数関数 $y = \log_4 x$ のグラフをかけ。</p> <p>・対数関数の特徴を理解し、数の大小を比較できる。 (例) 次の数の大小を不等号を用いて表せ。</p> <p style="text-align: center;">$2 \log_{\frac{1}{2}} 3, 3, 3 \log_{\frac{1}{2}} 2$</p> <p>・対数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 (例) 次の方程式、不等式を解きなさい。</p> <p>(1) $\log_5 x = 2$ (2) $\log_3 x < 2$</p> <p>・常用対数について理解し、桁数を求める問題に応用できる。 (例) 2^{30} は何桁の数か。ただし、$\log_{10} 2 = 0.3010$ とする。</p>
<p>(4) 三角関数</p> <p>ア 角の拡張 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。</p>		<p>・度数法の角度を弧度法で表すことができる。 (例) 次の角度を弧度法で表せ。 (1) 210° (2) 225° (3) 240° (4) 330°</p> <p>・弧度法を用いて扇形の弧の長さや面積を求めることができる。 (例) 次のような扇形の弧の長さ l と面積 S を求めよ。 (1) 半径4、中心角 $\frac{\pi}{3}$ (2) 半径6、中心角 $\frac{7}{6}\pi$</p>
<p>イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p>		<p>・弧度法で表された角度の三角比を答えることができる。 (例) 次の θ について、$\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ をそれぞれ求めよ。</p>

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p> <p>ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>	<p>(1) $\theta = \frac{5}{4}\pi$ (2) $\theta = -\frac{\pi}{3}$</p> <p>・象限ごとに $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ の正負を判定することができる。 (例) 次の条件を満たす θ の動径は第何象限にあるか。 $\sin \theta < 0$ かつ $\tan \theta > 0$</p> <p>・三角関数の相互関係を用いることができる。 (例) $\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2}$ のとき、次の式の値を求めよ。</p> <p>(1) $\sin \theta \cos \theta$ (2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta$</p> <p>・三角関数の性質を用いて $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ の値を求めることができる。 (例) 次の値を求めよ。</p> <p>(1) $\sin\left(-\frac{\pi}{6}\right)$ (2) $\tan\left(-\frac{9}{4}\pi\right)$</p> <p>・三角関数の方程式、不等式を解くことができる。 (例) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、次の方程式・不等式を解け。</p> <p>(1) $2\cos \theta + 1 = 0$ (2) $\sin\left(\theta - \frac{\pi}{6}\right) = -\frac{1}{\sqrt{2}}$</p> <p>(3) $\cos \theta \leq -\frac{1}{2}$ (4) $\tan \theta > -\sqrt{3}$</p> <p>・加法定理を用いて計算ができる。 (例) (1) $\cos 75^\circ$ の値を求めよ。</p> <p>(2) $\sin \frac{\pi}{12}, \cos \frac{\pi}{12}$ の値を求めよ。</p> <p>(3) $\tan \frac{11}{12}\pi$ の値を求めよ。</p>

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(5) ア 微分の考え 微分 ・ 積分 の 考 え</p> <p>(ア) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>(イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること</p>	<p>・ 2倍角の公式を扱うことができる。 (例) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ で $\sin \alpha = \frac{3}{5}$ のとき、次の値を求めよ。 (1) $\cos \alpha$ (2) $\cos 2\alpha$ (3) $\sin 2\alpha$</p> <p>・ 微分係数を求めることができる。 (例) $f(x) = 5x^3 - x^2 + 9$ について、次の x における微分係数を求めよ。 (1) $x = 0$ (2) $x = 2$ (3) $x = -1$</p> <p>・ 導関数の意味について理解できる。 (例) $f(x) = x^2$ について、$f'(x)$ を定義に従って求めよ。</p> <p>・ 導関数を用いて、グラフの概形を書くことができる。 (例) 関数 $y = x^3 - 3x^2 + 4$ について答えよ。 (1) 増減表を作り、極値を求めよ。 (2) グラフを書け。</p> <p>・ 基本的な不定積分を求めることができる。 (例) 次の不定積分を求めよ。 ただし、積分定数を C とする。 (1) $\int 5dx$ (2) $\int (6x + 5)dx$ (3) $\int 2(x - 1)dx$ (4) $\int (x^2 + x - 1)dx$ (5) $\int (2t - 1)(3t + 2)dt$</p>

学習指導要領	山崎高校 学力スタンダード
<p>(イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な定積分を求めることができる。 (例) 次の定積分を求めよ。 (1) $\int_{-1}^7 1dx$ (2) $\int_2^4 2xdx$ (3) $\int_{-1}^2 (2x^2 + x)dx$ (4) $\int_{-4}^4 (2x^3 - 6x^2 + 5x - 4)dx$ (5) $\int_{-1}^1 (4x - 3)dx + \int_{-1}^3 (4x - 3)dx$ <ul style="list-style-type: none"> ・ 直線と曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 (例) $y = x^2 + x$、$y = -2x + 4$ で囲まれた部分の面積を求めよ。 ・ 2つ曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 (例) 2つの放物線 $y = x^2 - 2x + 1$、$y = -x^2 + 4x + 1$ で囲まれた部分の面積を求めよ

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p>	<p>ア 運動の表し方 (ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き (ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物理学の歴史、物理量の測定と分析に興味をもち、探究しようとする。 ・ 10^nを表す k や m などの代表的な接頭語を使用できる。 ・ 物理量の単位は、基本的な単位を組み合わせでできる組立単位であることを判断する。 ・ 変位・速度の関係について、科学的に理解する意欲をもって学習に取り組み、表現できる。 ・ 速度の合成や、相対速度について知る。 ・ 等速直線運動を表すグラフ ($x-t$ 図) と ($v-t$ 図) から速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。 ・ 等加速度直線運動のある時刻における速度と位置についての公式を判断し、表現できる。 ・ 重力、垂直抗力、張力、摩擦力、弾性力、浮力がどのような力であるかの特徴をとらえ、それぞれを図示できる。 ・ 重力や弾性力について、それぞれの大きさを計算できる。 ・ 物体が異なる方向に複数の力を受けるとき、その力のはたらきについて意欲的に探究しようとする。 ・ 力の合成・分解、つりあいを表現できる。また、平面上の物体に働く力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。 ・ 作用・反作用とつりあう2力との違いを判断し理解する。 ・ アルキメデスの原理を踏まえ、ばねはかりを用いて、水中の物体にはたらく浮力を測定することができる。 ・ 慣性や、慣性の法則に関連した現象を日常から挙げるができる。 ・ 力、質量、加速度の関係より、運動方程式を表現できる。 ・ 物体にはたらくすべての力を図示し、運動方程式を考えることができる。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
(2) 様 々 な 物 理 現 象 と エ ネ ル ギ ー の 利 用	<p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探究活動を通じて、力と運動に関する法則性を導くことを確認する。 ・ 自由落下の特徴を踏まえ、物体の落下距離を測定し、落下時間を記録し整理する。 ・ 鉛直投げあげの特徴に関心を持ち、鉛直投射を判断し表現できる。 ・ 身の回りにおける水平投射や斜方投射の運動に意欲的に探究しようとする。
	<p>ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に使う「仕事」と、物理で使う「仕事」の意味の違いに関心を持ち、仕事の定義を理解する。 ・ 力の向きと物体の移動の向きが同じである場合や逆の場合、垂直の場合の仕事を計算できる。 ・ 仕事率が単位時間で行う仕事量であることを、単位を含めて理解する。 ・ 仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係を判断する。 ・ 物体のもつ運動エネルギーと重力、弾性力による位置エネルギーの公式を用いて計算できる。
	<p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることを表現できる。 ・ 摩擦力などの力がした仕事の量だけ力学的エネルギーが変化することを判断できる。
	<p>ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにおける温度と熱について意欲的に探究する。 ・ 物質の三態が原子・分子の状態の違いであることを判断し、セルシウス温度と絶対温度の換算ができる。 ・ 熱の出入りと温度変化の関係を理解し、比熱、熱容量、潜熱について判断できる。
<p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱の移動について判断し、外部と熱のやり取りがないとき、熱量が保存されることを理解する。 ・ 熱に関する現象が不可逆変化であること、熱はエ 	

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
<p>イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p> <p>ウ 電気 (ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p>	<p>エネルギーであり、仕事は熱に、熱の一部が仕事に移り変わることを判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身のまわりのさまざまな波について興味や関心を持つようとする。 ・ 波の重ねあわせを表現できる。 ・ 固定端、自由端のそれぞれにおける波の反射を判断できる。 ・ 横波と縦波が伝わるようすを観察し、波の伝わり方とそれぞれの波を表現する。 ・ 定常波、波の反射などの現象を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ギターやトランペットなど、音の伝わるようすや音の性質について意欲的に探究し、音が波であることを判断する。 ・ 空気中の音の速さと温度との関係を表現できる。 ・ うなりの発生するしくみを観察し、うなりの現象を理解する。 ・ 弦の振動や気柱の共鳴を判断し、音が強めあう振動数や、弦、気柱の長さなどを表現し理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電流と電圧、抵抗の関係に関心を持つようとする。 ・ 抵抗に電流が流れるときの電圧と電流の関係を表現する。 ・ オームの法則、抵抗率など、抵抗の性質の基本的な内容を理解する。 ・ 抵抗の接続による合成抵抗を表現し、電圧計、電流計の接続について理解する。 ・ ジュール熱、電力、電力量の関係をオームの法則と関連して理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活には、電気が関わっていることを意欲的に探究し、モーターや発電機を通じて電流と磁場の関係に関心を持つようとする。 ・ モーターや発電機のしくみを学習し、電流と磁場の関係を判断する。 ・ 直流電流と交流電流の波形をオシロスコープを用 	

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
<p>エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<p>いて観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可視光線や電波が電磁波の一種であること、電磁波の伝わる速さが高速であることを判断する。 ・ 電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について関心を持つ。 ・ 放射能と放射線の意味、放射線量の単位について表現する。 ・ 物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていることについて、具体例を通して関心を持ち学ぶ。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を正しく使いながら、300～400語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・教科書などの7語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要となる基本的な文化的背景について理解する。

学習指導要領		都立山崎高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・300～400語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO 又は単語や語句、短い文で答えることができる。 ・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用して、英語で相手に伝えることができる。 ・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・自分の意見や考えを単に述べるだけでなく、理由や例示を加えて話すことができる。 ・他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について20～50語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。 ・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、相手を書いた文章についての感想を書くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。